

附属機関等の名称 会議概要

1	審議会名 第1回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2	日 時 平成25年5月31日 午前9時00分から午前11時30分まで
3	会 場 長野県安曇野庁舎3階第4会議室
4	出席者 市川委員、大石委員、福島委員、内川委員、高井委員、宗像委員、太田委員、青柳委員、小河委員、竹澤委員、飯沼委員、遠藤委員、上野委員、布施委員
5	市側出席者 宮澤市長、藤松企画財政部長、宮澤まちづくり推進課長、南まちづくり推進担当係長、赤羽まちづくり推進担当主査、齋藤まちづくり推進担当主事、細川市民活動コーディネーター
6	公開・非公開の別 公開
7	傍聴人 人 記者 2人
8	会議概要作成年月日 平成25年6月13日
協 議 事 項 等	
1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 委嘱書交付</p> <p>(3) あいさつ</p> <p>(4) 設置要綱及び委員会の役割について</p> <p>(5) 会長及び副会長選任</p> <p>(6) ワーキンググループの設置について</p> <p>(7) 安曇野市総合計画及び安曇野市「市民と行政の協働指針」について</p> <p>(8) 「安曇野市協働のまちづくりワークショップ」及び「安曇野市協働のまちづくり庁内プロジェクト作業部会提言及び報告書」について</p> <p>(9) 平成24年度地域審議会答申について</p> <p>(10) 審議</p> <p>〔1〕 基本計画及び行動計画の視点について</p> <p>〔2〕 基本方針及び行動計画の構成(案)について</p> <p>〔3〕 ワーキンググループの検討課題について</p> <p style="padding-left: 2em;">区など地縁型組織のあり方と区など地縁型組織と目的型組織、行政などとの協働</p> <p style="padding-left: 2em;">目的型組織のあり方と目的型組織相互の協働、目的型組織と区など地縁型組織、行政などとの協働</p> <p style="padding-left: 2em;">市民活動・協働コーディネートのあり方</p> <p>〔4〕 今後のスケジュールについて</p> <p>〔5〕 その他</p> <p>(11) 閉会</p>

会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に所定の手続により公開してください。

会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

2 会議事項概要

(4)設置要綱及び委員会の役割について

【宮澤課長】安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会設置要綱に基づき説明。

【質問】策定・評価委員会設置要綱6条4項では「会長が必要と認める場合は、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる」としているが具体的にはどういうことか。

【宮澤課長】例えば、ワーキンググループ等の報告のため、委員以外の方に会議に出席していただくことを考えている。

(5)会長及び副会長選任

【宮澤課長】選任についてどのようにしたらよいか提案していただきたい。

【意見】協働のまちづくりがテーマであるから、安曇野市をよく知っている方が、博識である大学の先生はいかがか。会長には内川委員、副会長には信州大学の先生か松本大学の先生を推薦する。

【意見】幅広い観点で委員会を運営していくために、会長、副会長のどちらか一方は女性の方から選出していただきたい。

【意見】安曇野市と信州大学は協定を結んできた経過があることや、専門性という観点から、信州大学の先生を選出していただきたい。

【宮澤課長】以上の意見を踏まえて、会長には前市区長会長であり、市の様々なことをよく知っている内川委員に、副会長には本日欠席ではあるが、信州大学の先生を選出したいが、いかがか。

(全員異議なしにより、会長に内川委員、副会長に信州大学の先生が選出)

【会長あいさつ】協働のまちづくりは合併以降、特に力を入れて推進してきた。かつては地域の支えあいや絆があったが現在は希薄になっている。今までの、行政任せの住民意識を、これからは住民が主体となって地域の課題を解決するように方向転換していかなければならない。その為に、いかにして住民に広報や発信をしていくかが重要である。委員の皆様からは率直な意見を承り、行動計画が早期にまとまるよう協力願いたい。

(6)ワーキンググループの設置について

【宮澤課長】ワーキンググループの設置について説明

【意見】市民のニーズが多様化し、環境も変化しているため、多方面からの柔軟な検討が必要になる。

【宮澤課長】地域課題が山積している中、市民の方がワーキンググループに参加し、多くの方で検討するのは重要である。

【意見】委員会設置中はまちづくり担当職員の異動がないほうが好ましいが、ワーキンググループ等の運営がスムーズに進行するよう対応して欲しい。

【宮澤課長】職員の異動があった場合でも、同じ対応ができるような仕組みづくりをしていく。

【会長】ワーキンググループはどの程度のものを考えているか。

【宮澤課長】昨年は協働のまちづくりワークショップを行った。委員の皆様にもワーキンググループに参加していただき、広く色々な地域の課題解決のための意見を出していただきたいと考えている。

【会長】ワーキンググループ開催はいつごろになるか。

【宮澤課長】6月下旬に1回目のワーキンググループ設置を予定している。2回目の策定・評価委員会までの間に1回目を開催し、その都度、策定委員会で報告し意見を反映させる。

【質問】ワーキンググループ立ち上げに際して、その内容、構成は。

【宮澤課長】テーマは「協働」であり具体的には3つ程考えている。一つ目は区など地縁型組織の協働推進、二つ目は地域課題を解決するためにNPO法人やボランティアなど目的型組織の協働推進、三つ目は、協働の主体を結びつける仕組みや人である「コーディネート」のあり方を掲げたいが、いかがか。グループの構成として、人選は事務局に任せていただけないかと考えている。今年のワークショップに出席した方にも参加していただきたいと考えている。

【質問】策定・評価委員も参加するのか

【宮澤課長】ワークショップで出た意見を整理し、計画を策定するのが本来の役割なので参加は義務ではないが、任意で積極的に参加していただいたらどうか。

(7)安曇野市総合計画及び安曇野市「市民と行政の協働指針」について

【宮澤課長】安曇野市総合計画及び安曇野市「市民と行政の協働指針」について説明

(8)「安曇野市協働のまちづくりワークショップ」及び「安曇野市協働のまちづくり推進庁内プロジェクト作業部会提言及び報告書」について

【宮澤課長】「安曇野市協働のまちづくりワークショップ」及び「安曇野市協働のまちづくり推進庁内プロジェクト作業部会提言及び報告書」について説明

(9)平成24年度地域審議会答申について

【宮澤課長】平成24年度地域審議会答申について説明

【意見】安曇野市は新設合併という経過をたどってきたこともあり、各地域の特性をいかした、協働を展開していくべき。

【質問】市民活動センターとして、安曇野市では「くるりん広場」が有名だが、公民館や分館は数多くあり協働の拠点となっている。市民活動センターと公民館、分館の連動性はどうなっているか。また、公民館統合についてはどう考えているか。

【宮澤課長】地区公民館は地域づくりの母体となる。市民活動センターについては、現在はNPOやボランティア団体が主に登録しているが、市民活動センターの役割はあらゆる協働の主体の情報を共有し、団体同士をつなげる役割であることから、将来的には区、企業や学校も参加していただきたい。現在市内に区が83、地区公民館が99あるが区と地区公民館の統一については、区長会、地区公民館を通じて議論する。現状では統一については是非は検討していない。

【意見】公民館運営審議会の会議概要では、地区公民館に関して、条例上の位置づけに関する会議概要がある。廃止された場合、市民活動センターと地区公民館の連携がとれなくなるので、事実について調べてほしい。

【宮澤課長】詳細について確認したい。

【意見】社会福祉協議会は支所にボランティアセンターがある。市民活動センターだけでなく、こういった施設があることも知っていただき、連携してほしい。

【宮澤課長】これから、もちろんボランティアセンターとも連携していきたい。

【意見】計画・啓発・情報発信が協働推進には欠かせない。市のHPや紙媒体だけでなく広報の一手段としてFM安曇野を利用していただきたい。

【質問】安曇野市と信州大学が提携し作成した冊子である「安曇野市の地域住民組織」は市民へ公開しているのか。この冊子の内容は協働の推進に役立つため、住民への配布状況を知りたい。

【宮澤課長】冊子については安曇野市が研究を信州大学に委託して作成し、各区長に配

布した。今後は、冊子を多くの方の目にふれていただくようにする。協働はひとつの手段であり、本来は地域の課題は地域で解決することを前提としている。

【意見】市民の役割以前に行政が横断的組織を構成することが必要である。例として、有害鳥獣電気柵を設置する立場にあったとき、協働ということで、国や市から資材や工具を提供していただき、住民側が主体となり設置をしていたが、埋蔵文化財がある箇所や砂防指定地で電気柵の設置を行っていた。本来は区長が埋蔵箇所や砂防箇所を調べて届け出なければならないというが、市民では想定できないところもある。そういう時に、専門知識を持った行政部門が連携し、市民に通知するなどの配慮をしてほしい。

【意見】今まで、協働の指針を作成し、実施しているが、結果に結びつかないところもある。そういったところを洗い出し、焦点をあて、解決したらどうか。

【意見】市民活動センターや「わの会」が地域課題解決のため、市民の受け皿になれる場合もある。

(10) 審議

〔1〕基本計画及び行動計画の視点について

【宮澤課長】基本計画及び行動計画の視点について説明

〔2〕基本方針及び行動計画の構成(案)について

【宮澤課長】基本方針及び行動計画の構成(案)について説明

〔3〕ワーキンググループの検討課題について

【宮澤課長】ワーキンググループの検討課題について説明

〔4〕今後のスケジュールについて

【宮澤課長】今後のスケジュールについて説明

〔5〕その他

【意見】今まで参加してきたワークショップは、最終的に課題解決には直接結びつかなかった。行政はワークショップの結果を活かし課題解決に向けもっと力を入れるべき。

【宮澤課長】今後、課題解決に結びつけるよう一層努力していきたい。

【質問】「安曇野市の地域住民組織」におけるアンケート調査に関し、2009年にも同様のアンケートを実施しているが、公表しているか。また本委員会の資料は区の会合等で公表していいか。

【宮澤課長】アンケート結果は次回用意する。また、委員会の資料は公開してさしつかえない。

【意見】ワーキンググループは大切で、ワークショップで広げた意見を収束させることが必要である。また事例研究をしながら協働を推進したらどうか。

(11) 閉会